

茶臼岳―八幡平のパノラマの絶景ポイント

八幡平は広大な地域を覆っており、茶臼岳からはその全景のパノラマが望めます。

茶臼岳山頂にそびえ立つ溶岩ドームから見える南方の景色は、主に巨大な岩手山の山体に占められており、その向こうには早池峰山、そして北上川流域の沖積平野が遠くに広がっています。

源太森から茶臼岳、そして前森山まで広がる八幡平火山群東部は、八幡平火山群西部よりずっと後に、火山活動によって形成されました。その結果、この地域の地形は西部に比べて年代が浅く起伏に富んでいます。

真下の景色は、北上川上流の原生林と大沼や熊沼を含む広い湿原です。

山頂までのルートは2つあります。冬にはスキーヒルも兼ねるメインルートはやや陰しいものの、トレイルの各ポイントから違った景色が見えます。黒谷地ルートのなだらかな登り道は、コメツガの森を通り、山頂に続くトレイルにつながっています。

夏の間を通して、登山道沿いでは高山植物が花を咲かせます。初夏にはシラネアオイ、ミヤマキンポウゲ、ゴゼンタチバナ、真夏になるとヤマハハコとハクサンシャクナゲの花がみられます。